

建築防水改修ドレン用ストレーナ

飛散防止改修ストレーナ



建築防水材改修時にドレンへ設置したストレーナが猛烈な風や鳥害により外れる場合があります。「飛散防止ストレーナ」は、固定金具でドレンに強固に取り付けるため、風害や鳥害による脱落と飛散を抑制します。

特長

- 中央ネジ頭を回転させることによって固定金具を開閉できます。
- 時計回りに回転させると開き、反時計回りに回転させると閉じます。固定金具をドレンの中で開くと、突っ張り棒のような要領でストレーナを強固に固定でき、強風時に飛散しにくくなります。
- 気象庁の分類で猛烈な台風(最大風速54m/s以上)^{*1}がきても理論上は耐えられる耐風圧性能となっており、従来のストレーナの約4倍の耐風圧性があります。

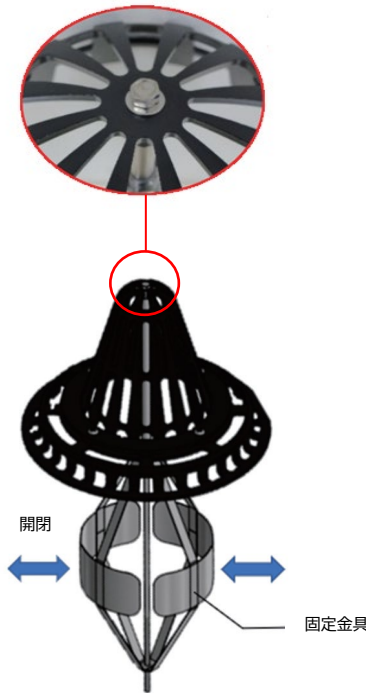


表. ストレーナの耐風圧性

商品名	耐風速(m/sec)
従来品	36.9
飛散防止改修ストレーナ	144.4

株式会社山装による測定結果 条件) 建物 10m、地表面粗度区分Ⅲ、隅角部設置

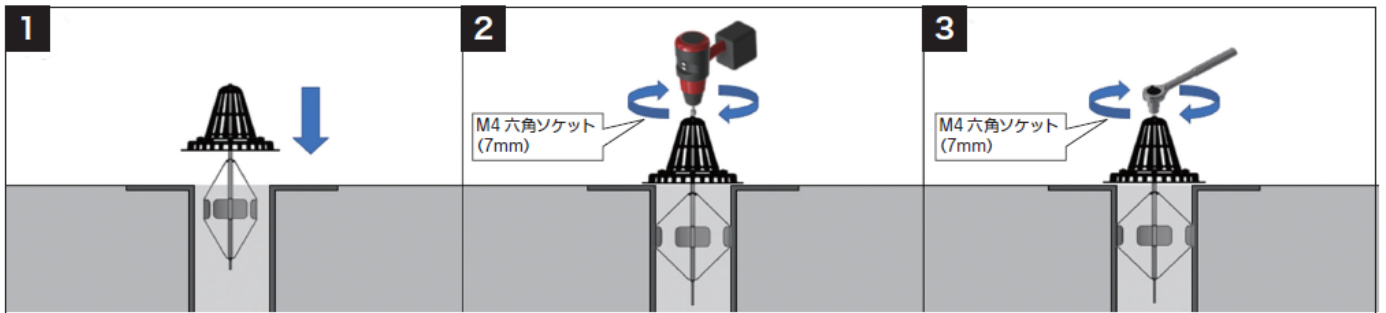
- 既に設置されている改修ドレンにも取り付けできます。

^{*1} 気象庁「台風の強さの階級分け」

ラインアップ

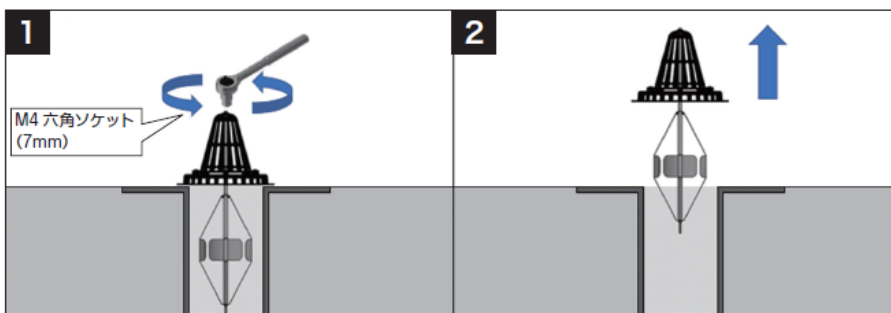
外観				
品名	タテ型 S	タテ型 M 小	タテ型 M 大	タテ型 L
色	ブラック ライトグレー	ブラック ライトグレー	ブラック ライトグレー	ブラック ライトグレー
素材	アルミダイカスト	アルミダイカスト	アルミダイカスト	アルミダイカスト
荷姿	2 個入り/箱	2 個入り/箱	2 個入り/箱	2 個入り/箱
改修ドレンの適合サイズ	φ27~φ49	φ55~φ69	φ73~φ89	φ99~φ129

取り付け方法



- ① ドレンにストレーナを差し込む。
- ② ストレーナ本体を手でしっかり押さえながら電動ドライバーを用いて固定金具がドレンに軽く触れるまで締め付ける（時計回り）。
トルクが強すぎるとネジ山が潰れたり不具合が生じる可能性があるため電動ドライバーを使用される際は最低トルクに設定してご使用ください。
- ③ 最後にソケットレンチを用いて手締めでしっかりと固定する。締め過ぎるとドレンが破壊されたりネジ山が潰れたりする可能性があるため必要以上に締め付けないようにご注意ください。

取り外し方法



- ① ソケットレンチを用いて固定金具を緩める（反時計回り）。
- ② 固定金具が緩くなっていることを確認してからストレーナを引き抜く。強引に引き抜くとドレンの破損につながるためご注意ください。

寸法図

